

益子町次期総合計画策定 町民アンケート報告書

令和7年4月

益子町 総務部 総合政策課

調査の概要

- ◆目的 本アンケートは、18 歳以上の町民 2,000 人を対象に、町政に対する満足度や、まちづくりについてのニーズなどを把握し、本町の次期総合計画の策定に向けた基礎資料とするために実施した。

- ◆実施内容 対象者、配布・回収方法、回収数などは以下のとおり

調査の対象	18 歳以上の町民 2,000 人 3 地区（田野・益子・七井）の人口構成比率に応じ、住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送による配布 郵送またはオンラインによる回収
調査期間	令和 6 年 11 月 22 日～令和 6 年 12 月 16 日
回収数	674 件（郵送 484 件、オンライン 190 件）
回収率	33.7%

- ◆その他 本文中の「百分率」は小数点第 2 位を四捨五入している。なお、複数回答の設問については、端数処理により合計が 100 にならない場合がある。

1 回答者の属性

【問1】回答者の性別 および【問3】年代(令和7年1月1日現在)

全体の回答率は33.7%で、年代別にみると、70歳代が50%で最も高く、20歳代が14.7%で最も低かった。なお、過去のアンケートの年代別の回答率を考慮し、今回は若年層を多めに対象者として抽出した結果、【参考】に示したとおり、各性別・年代別の実際の人口に対する回答者の割合は、10歳代(18~19歳)と30歳代が5.3%と最も高かった。また、20歳代は3.3%となっている。

男女・年代別回答者数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答	合計
男	8	18	42	45	49	56	50	19	2	289
女	11	33	62	64	62	67	50	16	1	366
回答しない	0	2	2	2	1	1	0	0	0	8
無回答	0	0	1	1	0	0	0	2	7	11
合計	19	53	107	112	112	124	100	37	10	674

(単位:人)

男女・年代別回答率

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	合計
男	20.0%	10.0%	24.7%	28.1%	30.6%	37.3%	50.0%	47.5%	28.9%
女	27.5%	18.3%	36.5%	40.0%	38.8%	44.7%	50.0%	40.0%	36.6%
合計	23.8%	14.7%	31.5%	35.0%	35.0%	41.3%	50.0%	46.3%	33.7%

※ 合計には、性別もしくは年代の無回答者も含む

図1 回答者の年代構成(人数, 割合)

【参考】男女・年代別回答率(各性別及び人口を分母とした場合)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	合計
男	4.2%	2.1%	4.1%	2.9%	3.3%	3.3%	2.9%	2.5%	3.1%
女	6.4%	4.4%	6.3%	4.6%	4.3%	3.9%	2.8%	1.4%	3.9%
合計	5.3%	3.3%	5.3%	3.8%	3.9%	3.6%	2.8%	1.9%	3.6%

※ 合計には、性別もしくは年代の無回答者も含む

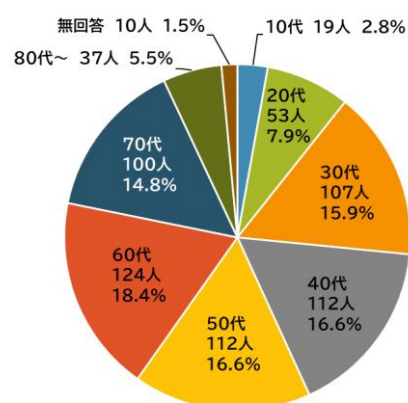
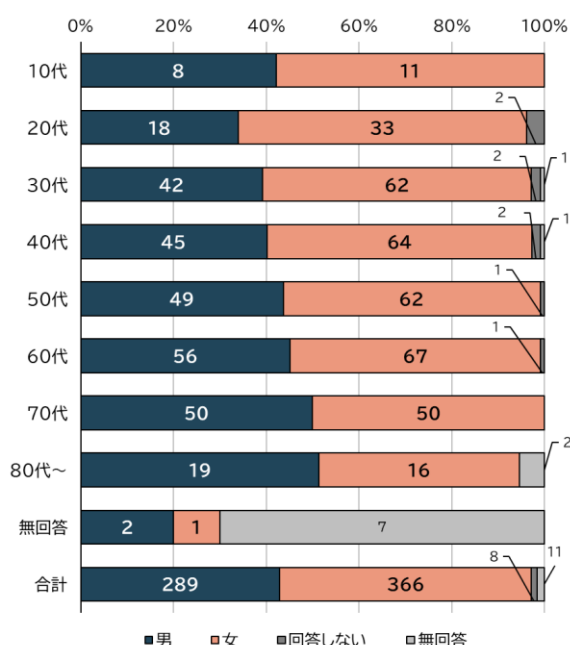
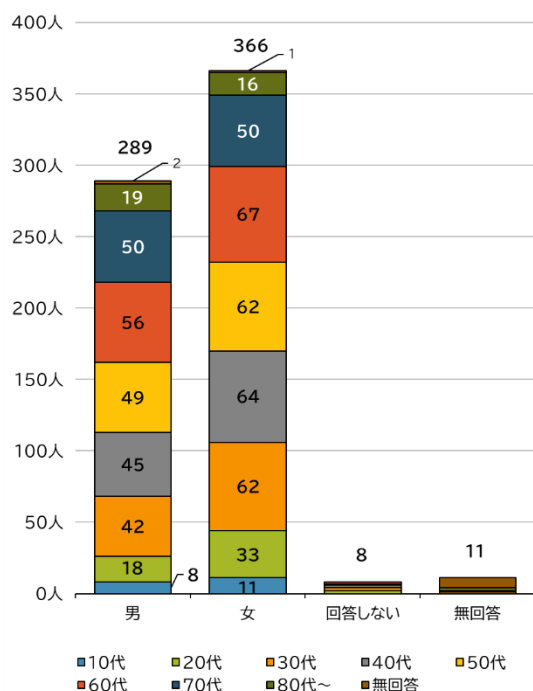


図2 男女・年代別回答者数 および 年代別男女比



【問2】 回答者の居住地区(男女別)

田野・益子・七井の地区別・男女別の回答率は、田野地区の男性が27.5%と最も低く、七井地区の女性が38.1%と最も高くなっている。

地区別回答者数(男女別)

(単位:人)

	田野地区	益子地区	七井地区	無回答	合計
男	55	158	75	1	289
女	71	192	103	0	366
回答しない	2	3	3	0	8
無回答	0	2	1	8	11
合計	128	355	182	9	674

※旧3町村別で集計

地区別回答率(男女別)

	田野地区	益子地区	七井地区	合計
男	27.5%	29.8%	27.8%	28.9%
女	35.5%	36.2%	38.1%	36.6%
合計	32.0%	33.5%	33.7%	33.7%

※ 合計には、性別もしくは居住地区の無回答者も含む

図3-1 居住地区別回答者数(男女別) および その構成比

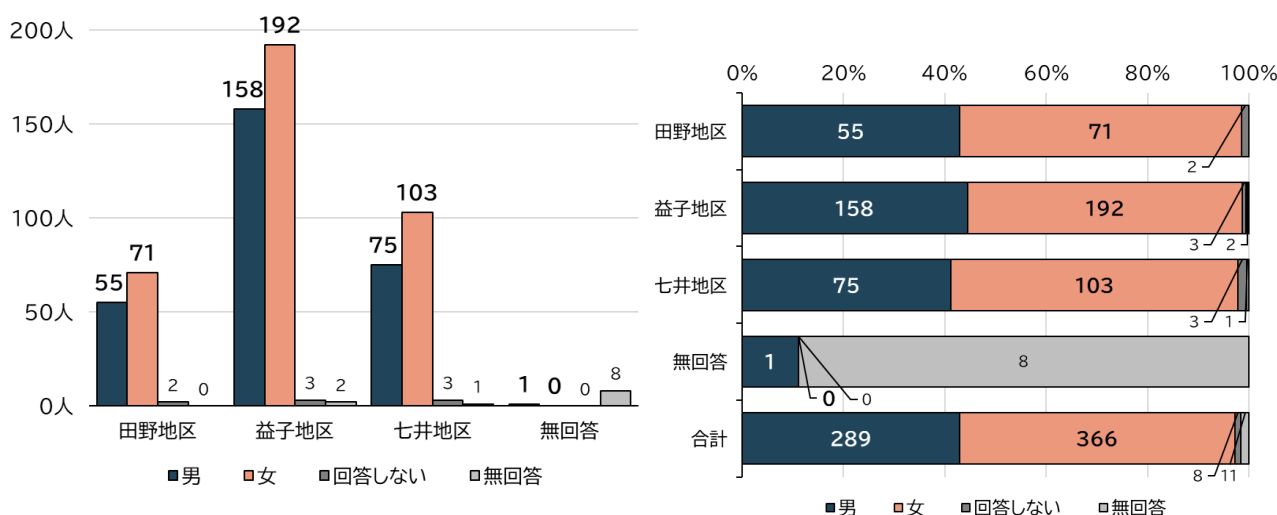
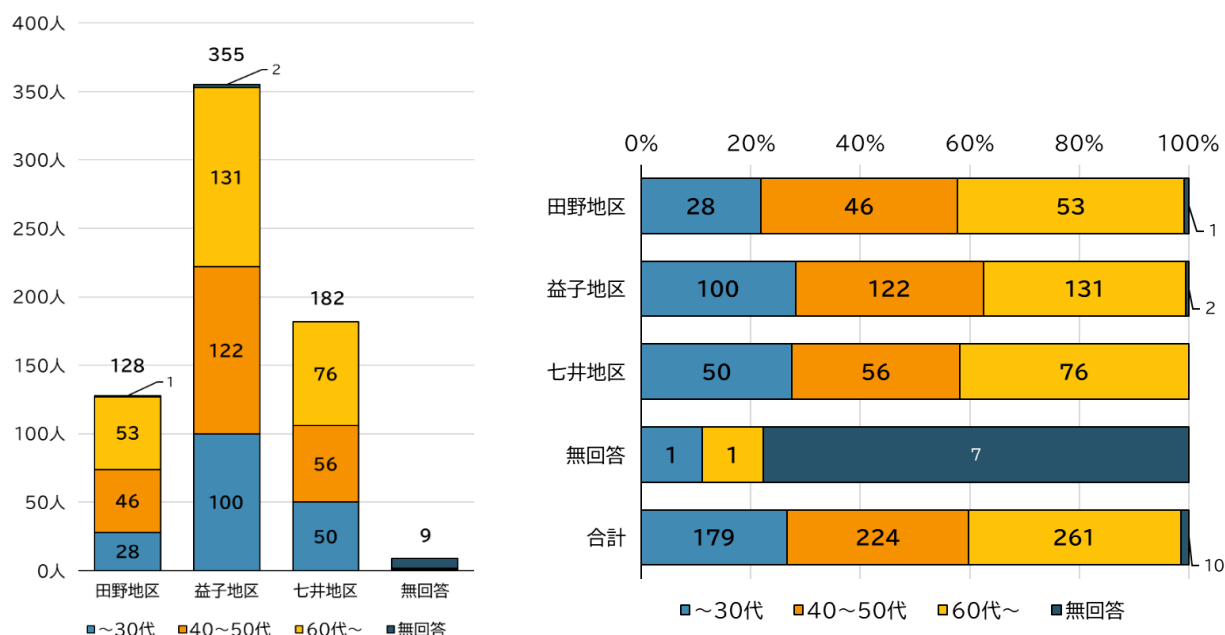


図3-2 居住地区別回答者数(年代別) および その構成比



【問4】 回答者の家族構成(年代別)

年代別家族構成をみると、60歳以上の半数程度が単身もしくは夫婦のみであった。

年代別家族構成

(単位:人)

家族構成	単身	夫婦のみ	2世代	3世代	パートナー	友人・知人	兄弟姉妹	その他	無回答	合計
～30代	19	16	111	26	2	0	1	3	1	179
40～50代	9	37	134	37	0	0	2	4	1	224
60代～	36	96	83	31	4	1	1	6	3	261
無回答	0	2	1	0	0	0	0	0	7	10
合計	64	151	329	94	6	1	4	13	12	674

図4-1 家族構成別回答者数 および その年齢構成

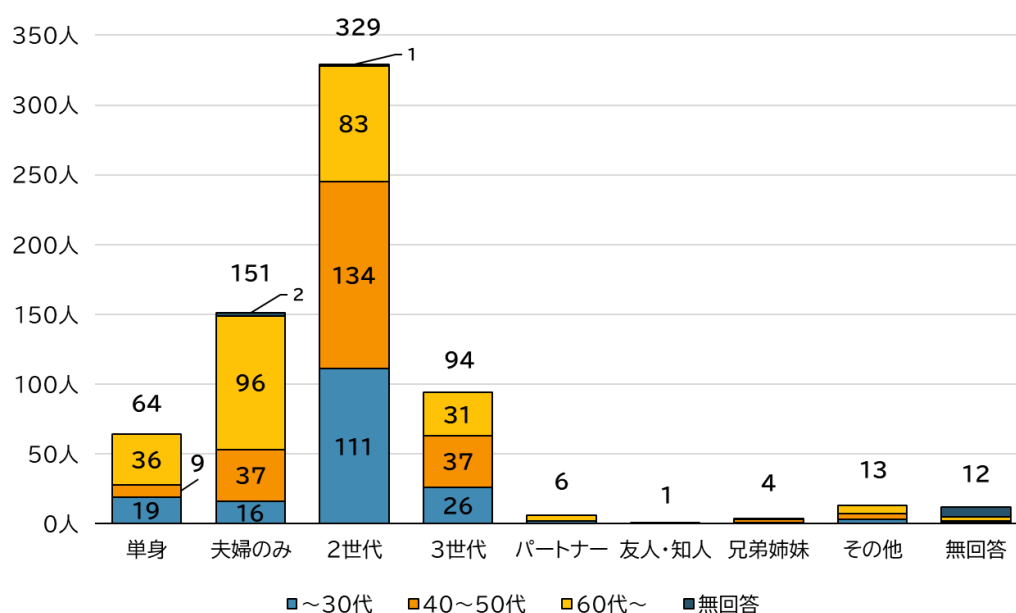
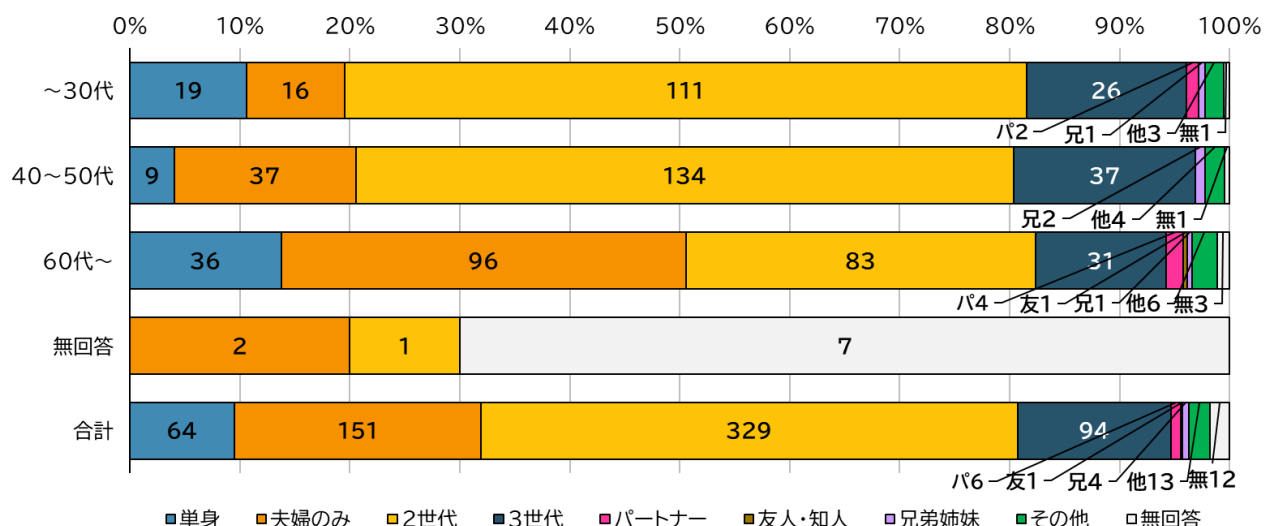


図4-2 年代別家族構成



【問5】 回答者の出身状況（年代別）

年代別出身状況をみると、30 歳代以下は 5 割以上が益子町出身であるのに対して、40～50 歳代、60 歳代以上では半数以上が町外出身であった。

年代別出身状況

（単位：人）

	益子生まれ、 益子育ち	益子生まれ、 一時転出	町外出身、 県内転入	町外出身、 県外転入	無回答	合計
～30代	57	37	54	30	1	179
40～50代	51	49	80	44	0	224
60代～	62	48	94	56	1	261
無回答	1	0	1	1	7	10
合計	171	134	229	131	9	674

図5-1 出身状況別回答者数 および その年齢構成

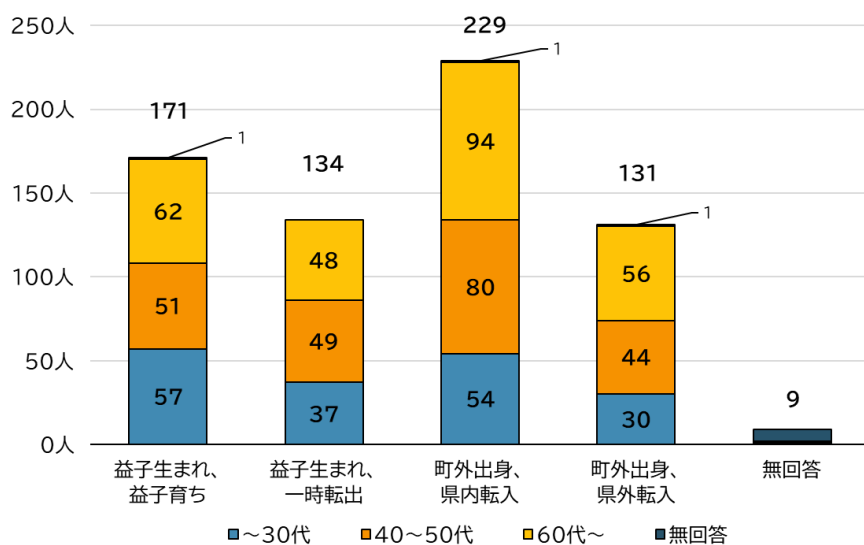
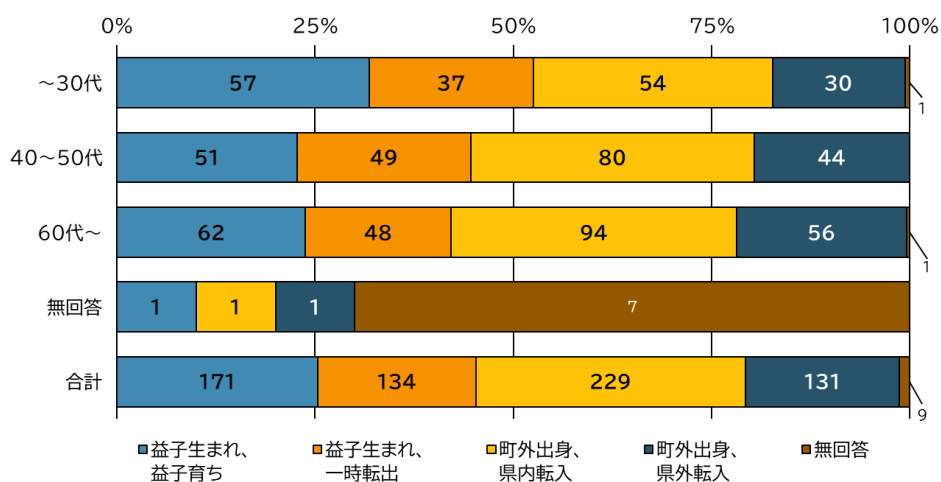


図5-2 年代別出身状況



【問6】 回答者の職業(年代別)

回答者の職業は多い順に、「会社員」(29.8%)、「無職」(20.3%)、「派遣社員・パート・アルバイト」(14.2%)、「自営業」(11.0%) となっているが、「学生」(2.8%) からも一定数の回答があった。

年代別職業

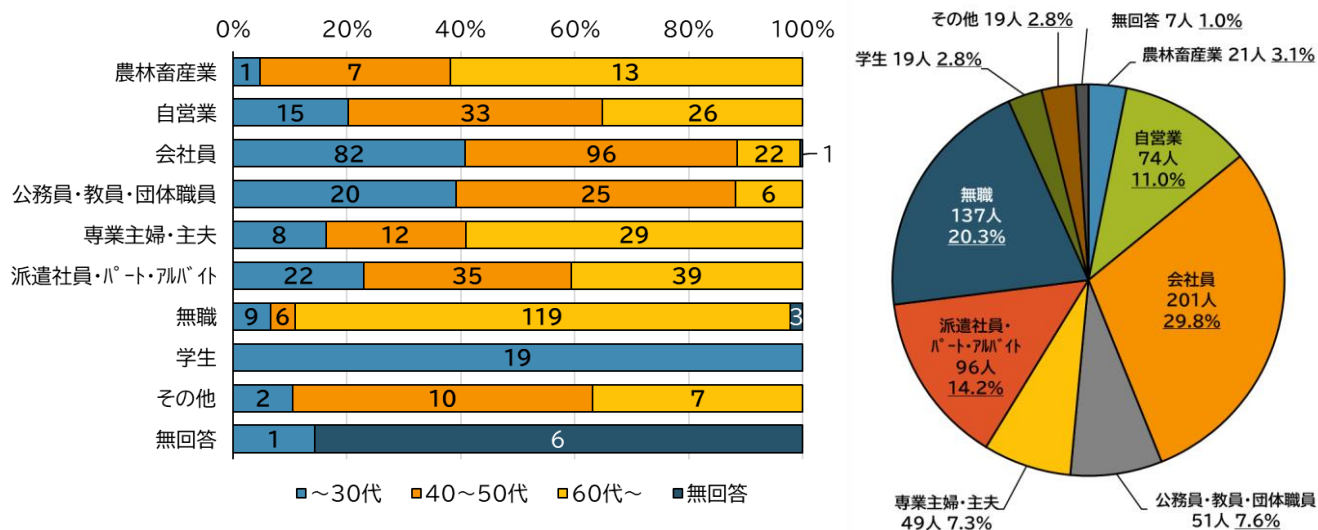
(単位:人)

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計
農林畜産業	1	7	13	0	21
自営業	15	33	26	0	74
会社員	82	96	22	1	201
公務員・教員・団体職員	20	25	6	0	51
専業主婦・主夫	8	12	29	0	49
派遣社員・パート・アルバイト	22	35	39	0	96
無職	9	6	119	3	137
学生	19	0	0	0	19
その他	2	10	7	0	19
無回答	1	0	0	6	7
合計	179	224	261	10	674

職業別年代構成

	～30代	40～50代	60代～	無回答
農林畜産業	4.8%	33.3%	61.9%	0.0%
自営業	20.3%	44.6%	35.1%	0.0%
会社員	40.8%	47.8%	10.9%	0.5%
公務員・教員・団体職員	39.2%	49.0%	11.8%	0.0%
専業主婦・主夫	16.3%	24.5%	59.2%	0.0%
派遣社員・パート・アルバイト	22.9%	36.5%	40.6%	0.0%
無職	6.6%	4.4%	86.9%	2.2%
学生	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	10.5%	52.6%	36.8%	0.0%
無回答	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%
合計	26.6%	33.2%	38.7%	1.5%

図6 職業別回答者数 および その年齢構成



【問7】 回答者の通勤・通学先(年代・男女別)

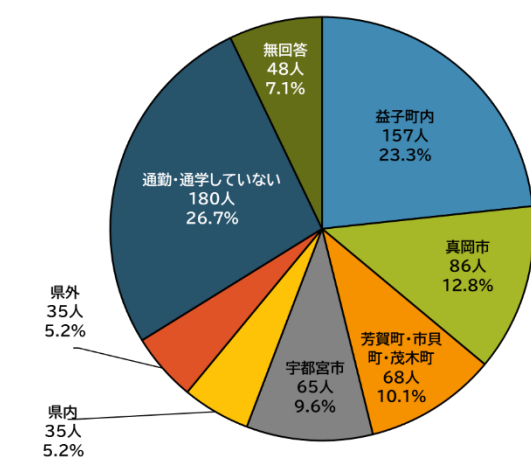
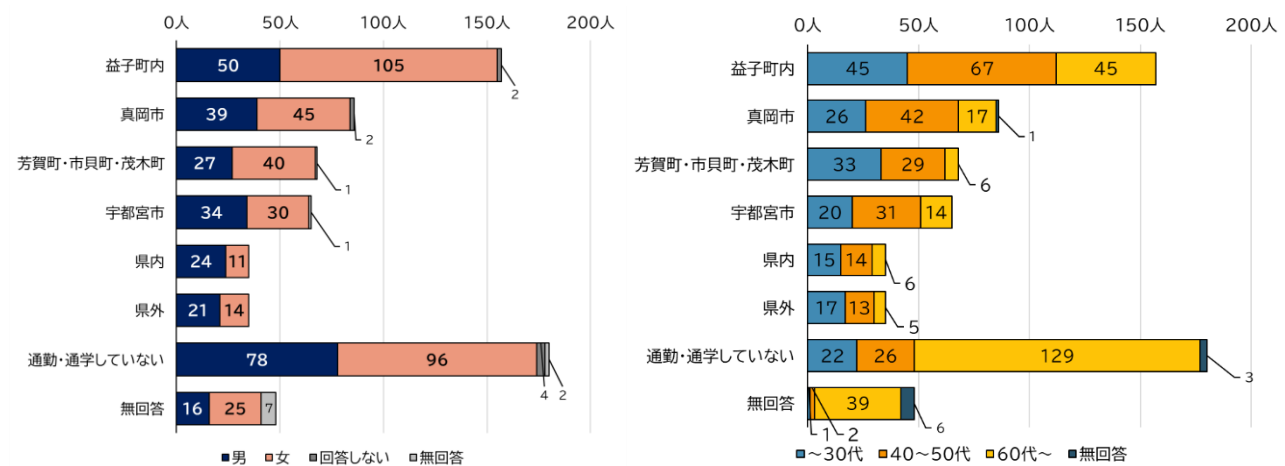
回答者の通勤・通学先は多い順に、「通勤・通学していない」(26.7%)、「益子町内」(23.3%)、「真岡市」(12.8%)、「芳賀町・市貝町・茂木町」(10.1%)、「真岡市」(12.8%)、「芳賀町・市貝町・茂木町」(10.1%)、となった。

年代・男女別通勤・通学先

(単位:人)

	～30代				40～50代				60代～				無回答				合計
	男	女	回答しない	無回答	男	女	回答しない	無回答	男	女	回答しない	無回答	男	女	回答しない	無回答	
益子町内	12	32	1	0	19	47	1	0	19	26	0	0	0	0	0	0	157
真岡市	10	15	1	0	21	20	1	0	7	10	0	0	1	0	0	0	86
芳賀町・市貝町・茂木町	14	18	0	1	10	19	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	68
宇都宮市	8	12	0	0	17	13	0	1	9	5	0	0	0	0	0	0	65
県内	10	5	0	0	9	5	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	35
県外	8	9	0	0	9	4	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	35
通勤・通学していない	5	15	2	0	9	16	1	0	63	64	1	1	1	1	0	1	180
無回答	1	0	0	0	0	2	0	0	15	23	0	1	0	0	0	6	48
合計	68	106	4	1	94	126	3	1	125	133	1	2	2	1	0	7	674

図7 通勤・通学先別回答者数 および 回答者の通勤・通学先構成



【問8】 益子町での居住年数(年代別)

居住年数が10年に満たないのは、30歳代以下で34.6%であるが、40～50歳代は11.6%、60歳代以上は3%であった。

年代別居住年数

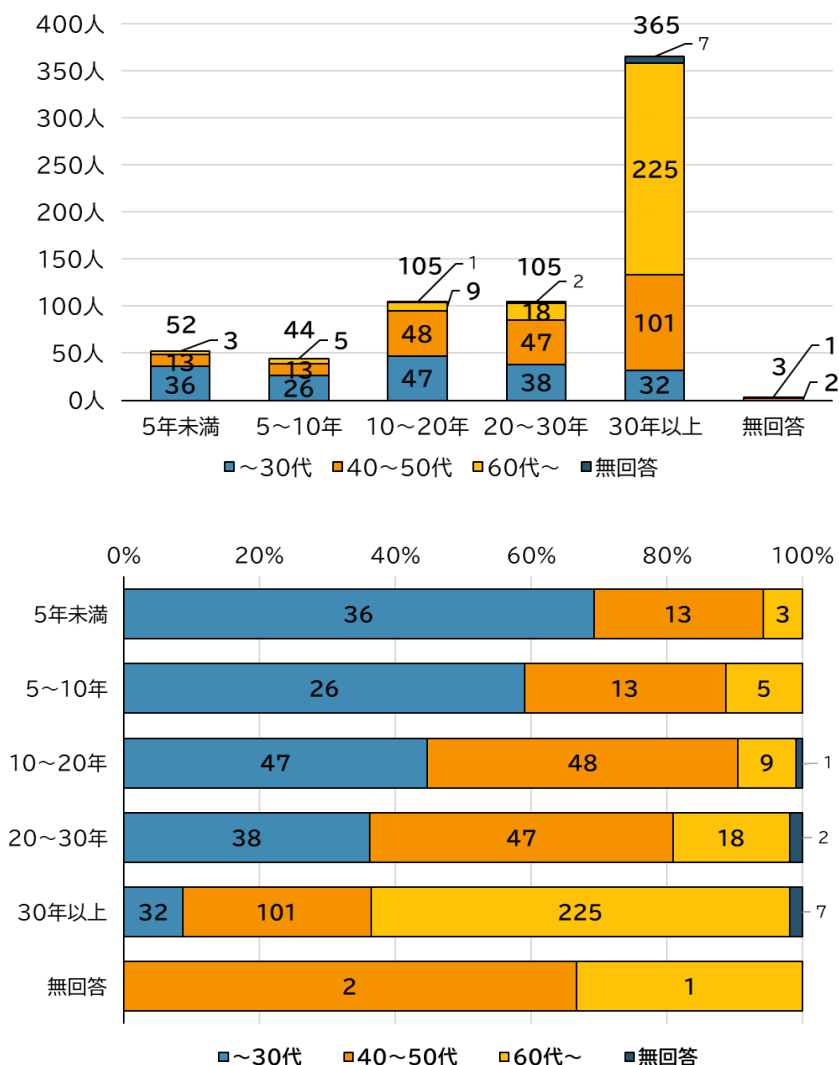
(単位:人)

	5年未満	5～10年	10～20年	20～30年	30年以上	無回答	合計
～30代	36	26	47	38	32	0	179
40～50代	13	13	48	47	101	2	224
60代～	3	5	9	18	225	1	261
無回答	0	0	1	2	7	0	10
合計	52	44	105	105	365	3	674

年代別居住年数(回答割合)

	5年未満	5～10年	10～20年	20～30年	30年以上	無回答
～30代	20.1%	14.5%	26.3%	21.2%	17.9%	0.0%
40～50代	5.8%	5.8%	21.4%	21.0%	45.1%	0.9%
60代～	1.1%	1.9%	3.4%	6.9%	86.2%	0.4%
無回答	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	70.0%	0.0%
合計	7.7%	6.5%	15.6%	15.6%	54.2%	0.4%

図8 回答者の居住年数別回答者数 および その年齢構成



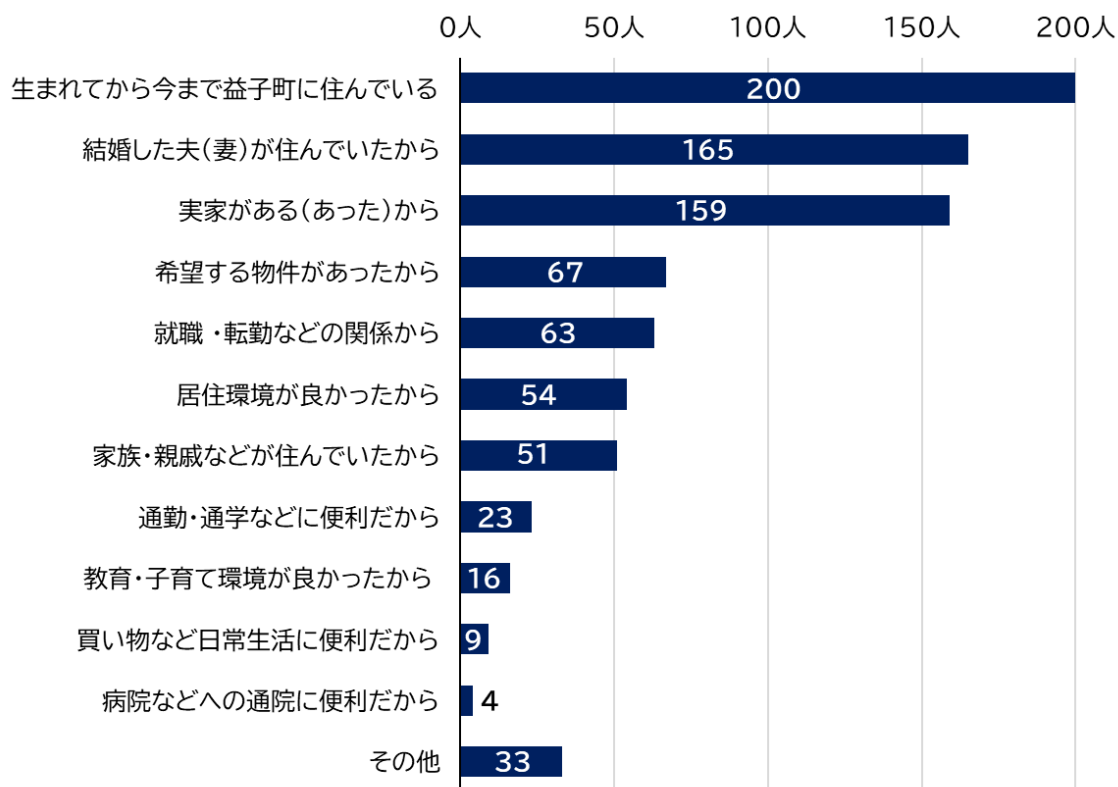
【問9】 益子に住むこととなった理由(複数回答)

益子に住むこととなった理由は多い順に、「生まれてから今まで益子町に住んでいる」、「結婚した夫(妻)が住んでいたから」「実家がある(あった)から」などの家族関係の理由が多いが、「希望する物件があったから」や「居住環境が良かったから」など益子町を選んで住んでいる方からも一定数の回答があった。

益子町に住むこととなった理由 (単位:人)

生まれてから今まで益子町に住んでいる	200
結婚した夫(妻)が住んでいたから	165
実家がある(あった)から	159
希望する物件があったから	67
就職・転勤などの関係から	63
居住環境が良かったから	54
家族・親戚などが住んでいたから	51
通勤・通学などに便利だから	23
教育・子育て環境が良かったから	16
買い物など日常生活に便利だから	9
病院などへの通院に便利だから	4
その他	33

図9 理由別回答者数



2 益子町での暮らしについて

【問10】 住んでいる地域に対して愛着や誇りを感じているか(年代別)

年代ごとの回答割合をみると、住んでいる地域に愛着や誇りを感じている・やや感じていると回答したのは、30 歳代以下及び 40～50 歳代では6割を超え、60 歳代以上になると7 割を超えた。

住んでいる地域への愛着や誇り

(単位:人)

	感じる	やや感じる	やや感じない	感じない	無回答	合計
～30代	38	79	32	29	1	179
40～50代	49	106	30	35	4	224
60代～	87	106	29	35	4	261
無回答	4	4	2	0	0	10
合計	178	295	93	99	9	674

住んでいる地域への愛着や誇り(年代別の回答割合)

	感じる	感じない	無回答
～30代	65.4%	34.1%	0.6%
40～50代	69.2%	29.0%	1.8%
60代～	73.9%	24.5%	1.5%
無回答	80.0%	20.0%	0.0%
合計	70.2%	28.5%	1.3%

図10-1 「居住地域への愛着・誇りの有無」の選択肢ごとの回答者数 および その年齢構成

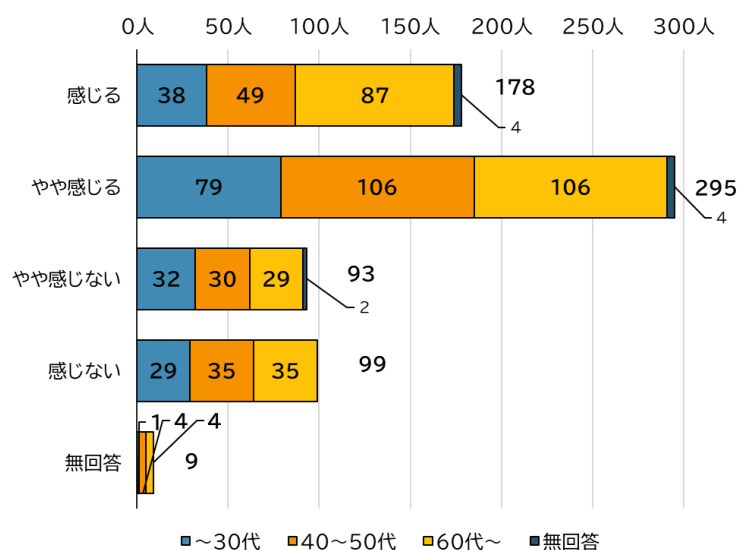
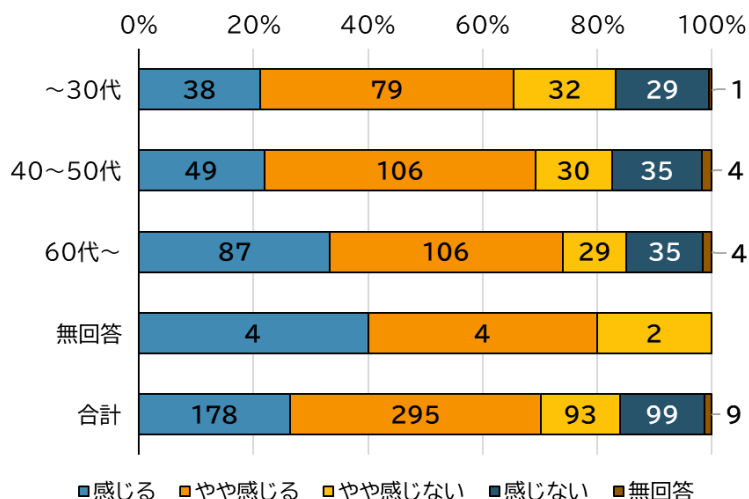


図10-2 年代ごとの回答割合



【問11】 今後も益子町に住み続けたいか

年代ごとの回答割合をみると、住み続けたい・いずれは戻ってきたいと回答したのは、30 歳代以下では 54.7%であり、40～50 歳代では 64.8%、60 歳代以上になると 80.5%であった。また、転出するかもしれない、転出したいと回答したのは 30 歳代以下で 28.0%であった。

年代・男女別居住希望

(単位:人)

居住希望	無回答					～30代					40～50代				
	男	女	回答しない	無回答	小計	男	女	回答しない	無回答	小計	男	女	回答しない	無回答	小計
住み続けたい	1	0	0	5	6	30	51	0	1	82	64	74	1	0	139
いずれは戻ってきたい	0	0	0	1	1	9	7	0	0	16	3	2	1	0	6
転出するかもしれない	1	0	0	1	2	13	20	2	0	35	12	16	0	0	28
転出したい	0	0	0	0	0	6	8	1	0	15	3	9	0	0	12
わからない	0	1	0	0	1	10	20	1	0	31	10	25	1	1	37
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
合計	2	1	0	7	10	68	106	4	1	179	94	126	3	1	224

居住希望	60代～					合計				総計
	男	女	回答しない	無回答	小計	男	女	回答しない	無回答	
住み続けたい	101	106	0	2	209	196	231	1	8	436
いずれは戻ってきたい	0	1	0	0	1	12	10	1	1	24
転出するかもしれない	7	9	0	0	16	33	45	2	1	81
転出したい	4	5	0	0	9	13	22	1	0	36
わからない	13	10	1	0	24	33	56	3	1	93
無回答	0	2	0	0	2	2	2	0	0	4
合計	125	133	1	2	261	289	366	8	11	674

年代別居住希望

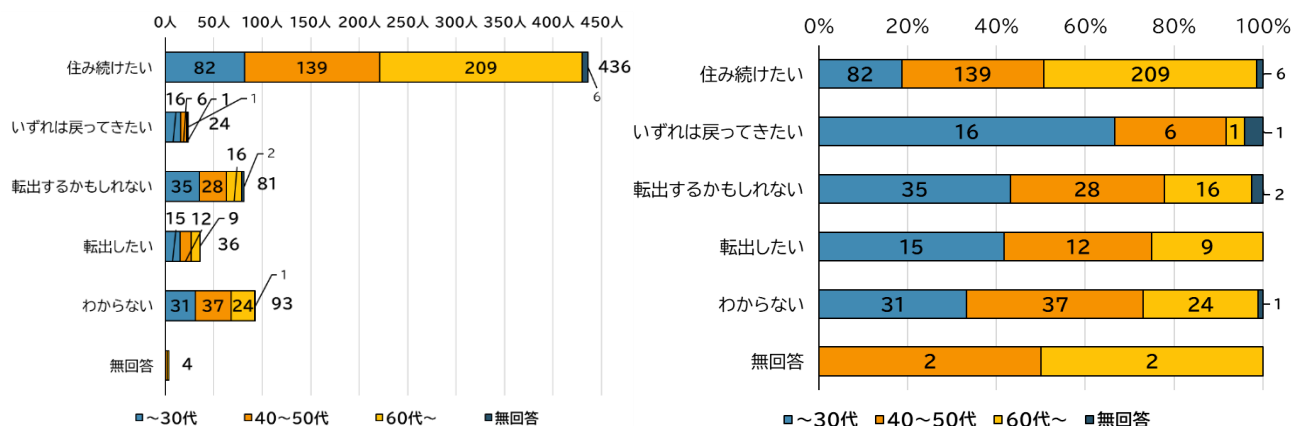
(単位:人)

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計
住み続けたい	82	139	209	6	436
いずれは戻ってきたい	16	6	1	1	24
転出するかもしれない	35	28	16	2	81
転出したい	15	12	9	0	36
わからない	31	37	24	1	93
無回答	0	2	2	0	4
合計	179	224	261	10	674

年代別居住希望割合

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計
住み続けたい	45.8%	62.1%	80.1%	60.0%	64.7%
いずれは戻ってきたい	8.9%	2.7%	0.4%	10.0%	3.6%
転出するかもしれない	19.6%	12.5%	6.1%	20.0%	12.0%
転出したい	8.4%	5.4%	3.4%	0.0%	5.3%
わからない	17.3%	16.5%	9.2%	10.0%	13.8%
無回答	0.0%	0.9%	0.8%	0.0%	0.6%

図 1-1 これからの居住希望の選択肢ごとの回答者数 および その年齢構成



【問 1 1 - 1】 益子に住み続けたいと思う理由は何か(3つまで回答可能)

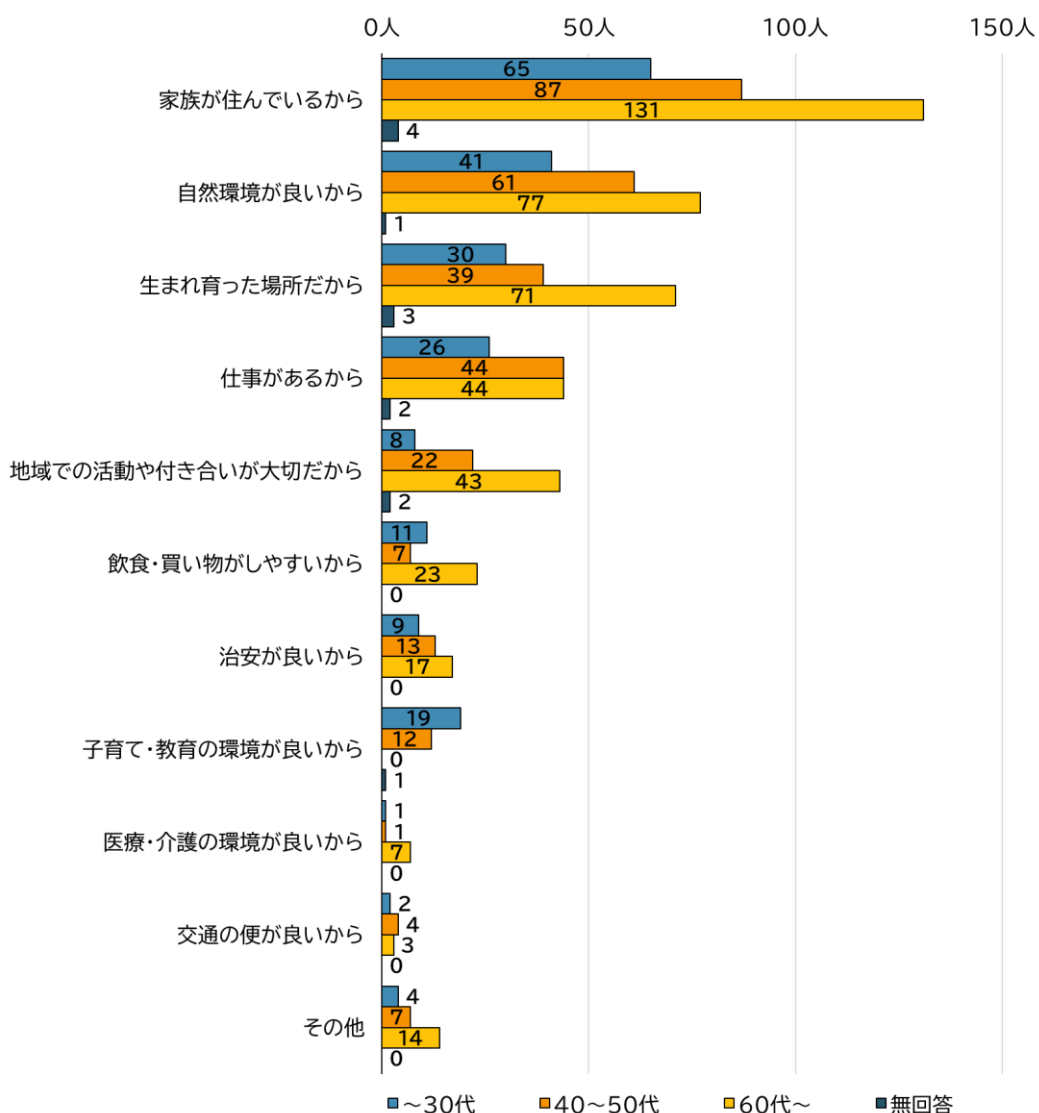
回答の多い順に「家族が住んでいるから」(30.0%)、「自然環境が良いから」(18.8%)、「生まれ育った場所だから」(15.0%)となった。なお、「医療・介護の環境が良いから」「交通の便が良いから」が最も低かった。また、「その他」に25件の回答があったが、回答項目に分類できない回答は、「家があるから」「何年も住んでいて他に行く場所もないから」という理由であった。

益子に住み続けたいと思う理由の選択肢別回答者数(年代別)およびその年齢構成 (単位:人)

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計	割合
家族が住んでいるから	65	87	131	4	287	30.0%
自然環境が良いから	41	61	77	1	180	18.8%
生まれ育った場所だから	30	39	71	3	143	15.0%
仕事があるから	26	44	44	2	116	12.1%
地域での活動や付き合いが大切だから	8	22	43	2	75	7.8%
飲食・買い物がしやすいから	11	7	23	0	41	4.3%
治安が良いから	9	13	17	0	39	4.1%
子育て・教育の環境が良いから	19	12	0	1	32	3.3%
医療・介護の環境が良いから	1	1	7	0	9	0.9%
交通の便が良いから	2	4	3	0	9	0.9%
その他	4	7	14	0	25	2.6%
無回答	81	79	51	3	214	—
合計	297	376	481	16	1,170	100.0%

※割合に無回答者は含まない

図 1 1 - 1 「益子に住み続けたいと思う理由」の選択肢別回答者数(年代別)



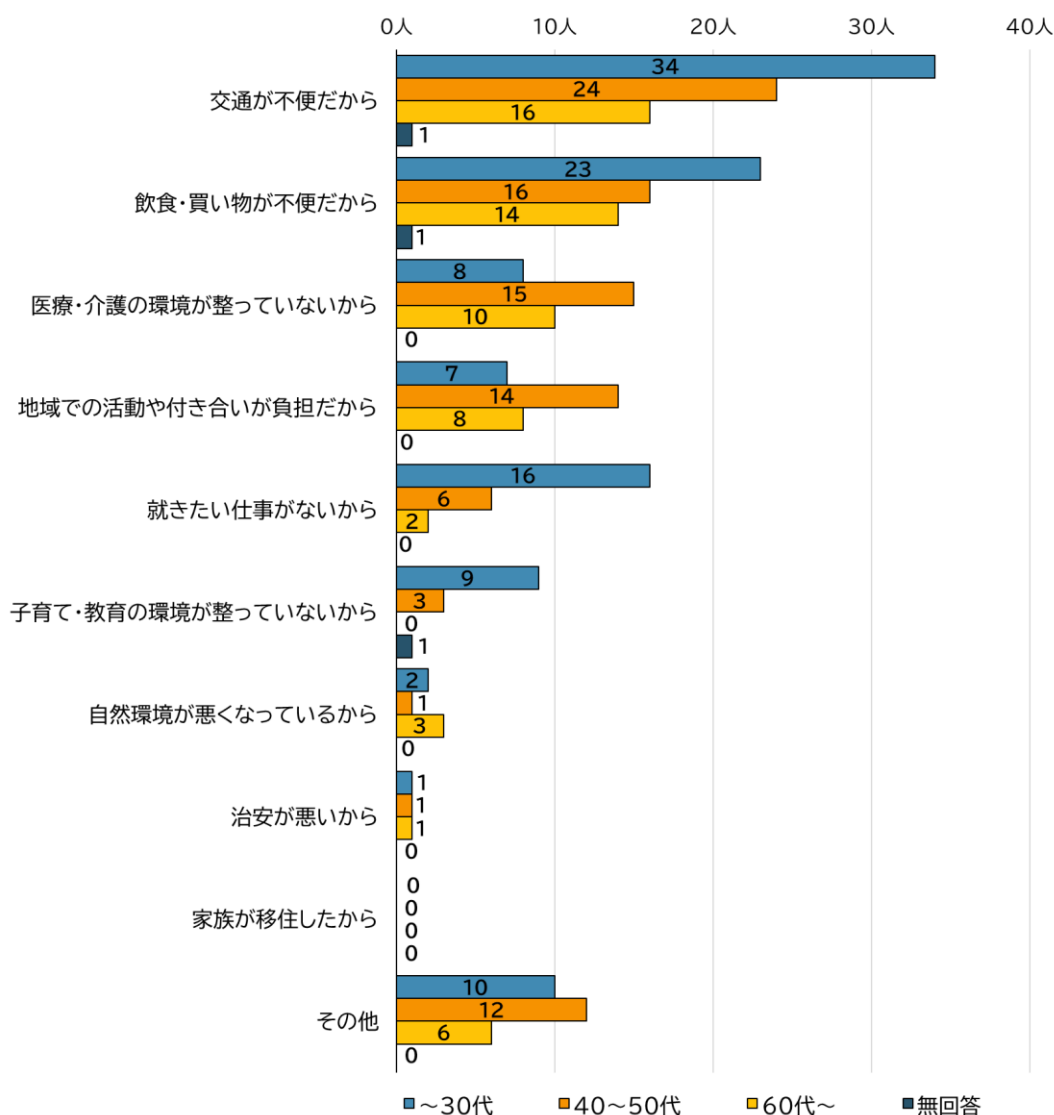
【問 1 1 - 2】 益子に住み続けたいと思わない理由は何か(3つまで回答可能)
 回答の多い順に「交通が不便だから」(28.3%)、「飲食・買い物が不便だから」(20.4%)、「医療・介護の環境が整っていないから」(12.5%)となった。また、「その他」に28件の回答があったが、回答項目に分類できない回答は、「魅力を感じないため」「所得税が高いため」「他市町にも住んでみたいため」「下水が整っていないため」「趣味のため」という理由であった。

益子に住み続けたいと思わない理由の選択肢別回答者数(年代別)およびその年齢構成 (単位:人)

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計	割合
交通が不便だから	34	24	16	1	75	28.3%
飲食・買い物が不便だから	23	16	14	1	54	20.4%
医療・介護の環境が整っていないから	8	15	10	0	33	12.5%
地域での活動や付き合いが負担だから	7	14	8	0	29	10.9%
就きたい仕事がないから	16	6	2	0	24	9.1%
子育て・教育の環境が整っていないから	9	3	0	1	13	4.9%
自然環境が悪くなっているから	2	1	3	0	6	2.3%
治安が悪いから	1	1	1	0	3	1.1%
家族が移住したから	0	0	0	0	0	0.0%
その他	10	12	6	0	28	10.6%
無回答	129	184	236	8	557	—
合計	239	276	296	11	822	100.0%

※割合に無回答者は含まない

図 1 1 - 2 「益子に住み続けたいと思わない理由」の選択肢別回答者数(年代別)



3 これまでの町政運営の満足度と、これから力を入れていく取組みの重要度について

【問12-1-1】現在の満足度 ①暮らし分野(回答者数 および 平均点)

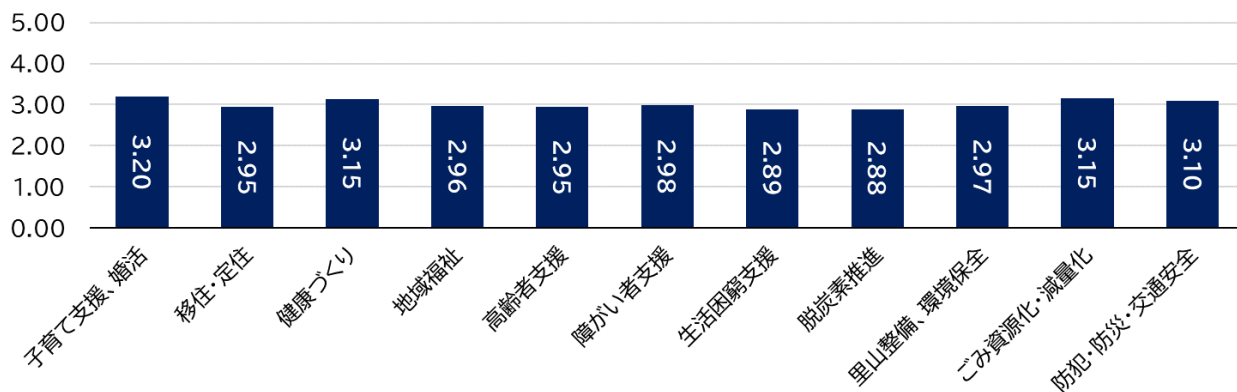
①暮らし分野では、現在の満足度の平均点が3.00を下回ったのは、「B 移住・定住」(2.95)「D 地域福祉」(2.96)、「E 高齢者支援」(2.95)「F 障がい者支援」(2.98)、「G 生活困窮支援」(2.89)、「H 脱炭素推進」(2.88)、「I 里山整備・環境保全」(2.97)、「J ごみ資源化・減量化」(3.15)、「K 防犯・防災・交通安全」(3.10)であった。

現在の町政運営の満足度(幸せを感じる暮らしをつくる)

(単位:人)

	問12現在1-A 子育て支援、 婚活	問12現在1-B 移住・定住	問12現在1-C 健康づくり	問12現在1-D 地域福祉	問12現在1-E 高齢者支援	問12現在1-F 障がい者支援	問12現在1-G 生活困窮支援	問12現在1-H 脱炭素推進	問12現在1-I 里山整備、環 境保全	問12現在1-J ごみ資源化・ 減量化	問12現在1-K 防犯・防災・交 通安全
5 満足	57	26	37	23	27	18	14	16	19	44	40
4 やや満足	122	67	108	69	66	71	51	56	91	144	117
3 ふつう	358	399	406	417	418	427	438	420	398	337	363
2 やや不満	51	105	57	85	86	66	86	96	88	71	79
1 不満	32	24	17	27	34	26	32	32	30	33	29
上記の計	620	621	625	621	631	608	621	620	626	629	628
平均点	3.20	2.95	3.15	2.96	2.95	2.98	2.89	2.88	2.97	3.15	3.10

※ 平均点は、満足を5点、やや満足を4点、ふつうを3点、やや不満を2点、不満を1点とした場合の平均点



【問12-1-2】これからの重要度 ①暮らし分野(回答者数、平均点 および 最重要項目の回答者数)

これからの重要度では、平均点が高い順に、「A 子育て支援、婚活」(4.02)、「K 防犯・防災・交通安全」(3.96)、「J ごみ資源化・減量化」(3.80)であった。

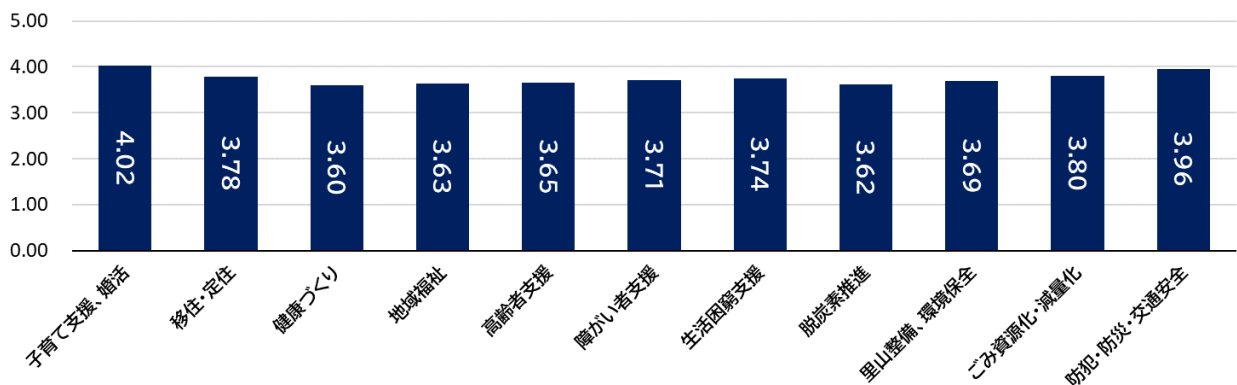
また、最も重要だと思われる取組みは、「A 子育て支援、婚活」が最も多かった。

これからの町政運営の重要度(幸せを感じる暮らしをつくる)

(単位:人)

	問12これから 1-A 子育て支援、 婚活	問12これから 1-B 移住・定住	問12これから 1-C 健康づくり	問12これから 1-D 地域福祉	問12これから 1-E 高齢者支援	問12これから 1-F 障がい者支援	問12これから 1-G 生活困窮支援	問12これから 1-H 脱炭素推進	問12これから 1-I 里山整備、環 境保全	問12これから 1-J ごみ資源化・ 減量化	問12これから 1-K 防犯・防災・交 通安全
5 高い	247	174	125	132	141	142	162	139	139	178	225
4 やや高い	190	189	183	188	209	207	199	177	206	192	186
3 ふつう	139	205	265	250	207	215	214	246	232	217	182
2 やや低い	24	34	32	30	43	31	33	42	25	24	22
1 低い	15	13	15	17	22	14	14	15	16	13	9
上記の計	615	615	620	617	622	609	622	619	618	624	624
平均点	4.02	3.78	3.60	3.63	3.65	3.71	3.74	3.62	3.69	3.80	3.96

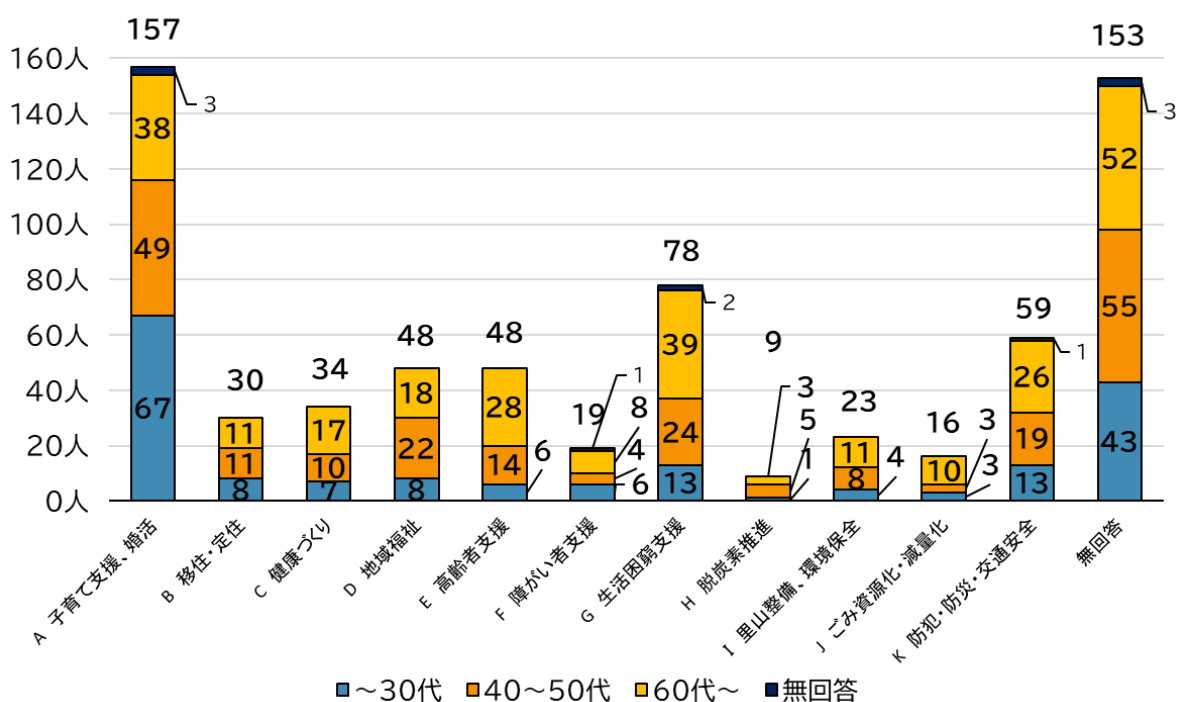
※ 平均点は、高いを5点、やや高いを4点、ふつうを3点、やや低いを2点、低いを1点とした場合の平均点



【問12-1-3】 重要度 ①暮らし分野

「幸せを感じる暮らしをつくる」の中で最も重要だと思われる取り組み（年代別）（単位：人）

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計
A 子育て支援、婚活	67	49	38	3	157
B 移住・定住	8	11	11	0	30
C 健康づくり	7	10	17	0	34
D 地域福祉	8	22	18	0	48
E 高齢者支援	6	14	28	0	48
F 障がい者支援	6	4	8	1	19
G 生活困窮支援	13	24	39	2	78
H 脱炭素推進	1	5	3	0	9
I 里山整備、環境保全	4	8	11	0	23
J ごみ資源化・減量化	3	3	10	0	16
K 防犯・防災・交通安全	13	19	26	1	59
無回答	43	55	52	3	153
合計	179	224	261	10	674



【問12-2-1】現在の満足度 ②産業分野(回答者数 および 平均点)

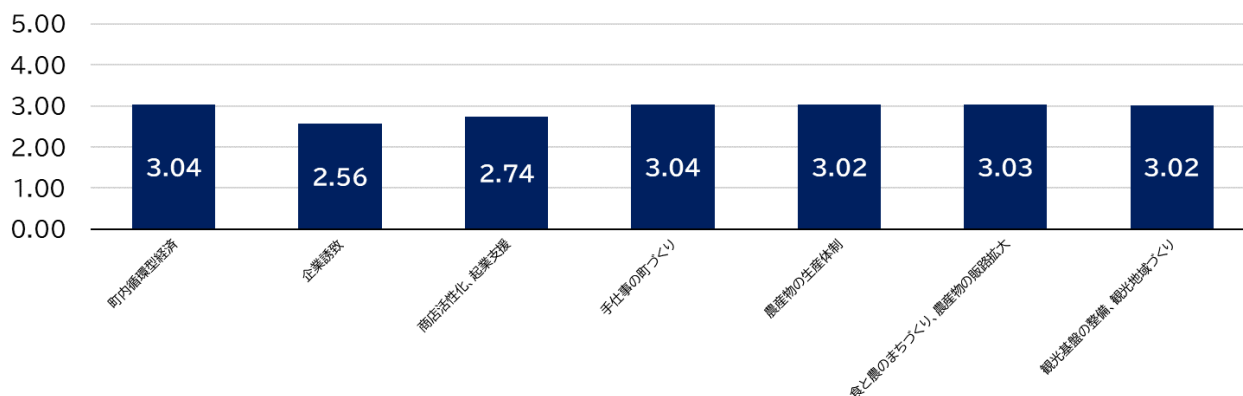
②産業分野では、現在の満足度の平均点が3.00を下回ったのは、「B 企業誘致」(2.56)、「C 商店活性化、起業支援」(2.74)であった。

現在の町政運営の満足度(風土に根ざした産業をつくる)

(単位:人)

	問12現在2-A 町内循環型経済	問12現在2-B 企業誘致	問12現在2-C 商店活性化、起業支援	問12現在2-D 手仕事の町づくり	問12現在2-E 農産物の生産体制	問12現在2-F 食と農のまちづくり、農産物の販路拡大	問12現在2-G 観光基盤の整備、観光地域づくり
5 満足	42	9	12	28	19	19	28
4 やや満足	97	29	49	95	90	106	90
3 ふつう	371	345	383	405	422	399	404
2 やや不満	90	160	119	66	71	71	73
1 不満	33	79	57	30	21	28	31
上記の計	633	622	620	624	623	623	626
平均点	3.04	2.56	2.74	3.04	3.02	3.03	3.02

※ 平均点は、満足を5点、やや満足を4点、ふつうを3点、やや不満を2点、不満を1点とした場合の平均点



【問12-2-2】これからの重要度 ②産業分野(回答者数、平均点 および 最重要項目の回答者数)

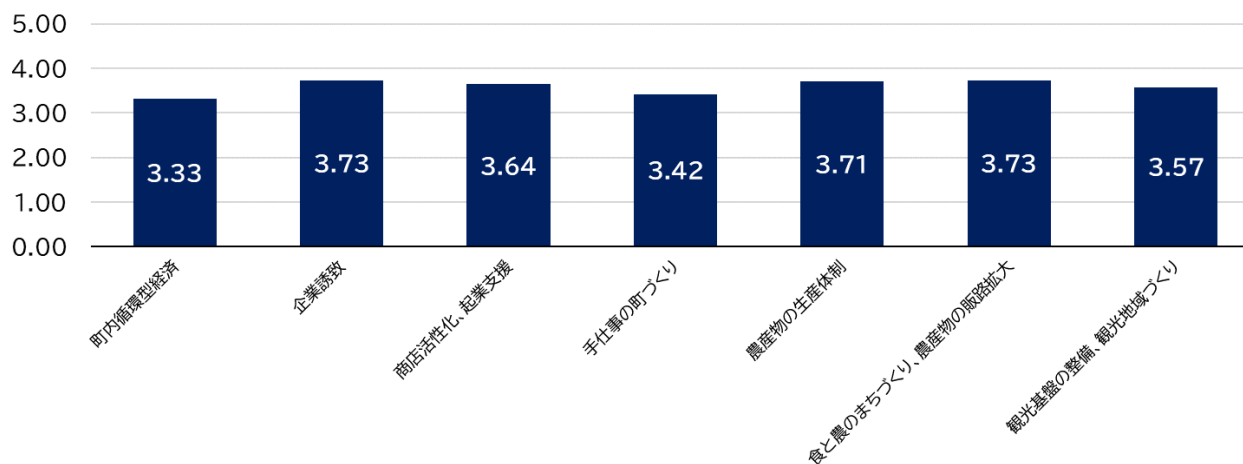
これからの重要度の平均点が最も高かったのは、「B 企業誘致」(3.73)と「F 食と農のまちづくり、農産物の販路拡大」(3.73)が同点であった。また、最も重要だと思われる取組みも「B 企業誘致」が最も多かった。

これからの町政運営の重要度(風土に根ざした産業をつくる)

(単位:人)

	問12これから2-A 町内循環型経済	問12これから2-B 企業誘致	問12これから2-C 商店活性化、起業支援	問12これから2-D 手仕事の町づくり	問12これから2-E 農産物の生産体制	問12これから2-F 食と農のまちづくり、農産物の販路拡大	問12これから2-G 観光基盤の整備、観光地域づくり
5 高い	89	180	132	105	145	151	126
4 やや高い	151	164	200	158	199	197	186
3 ふつう	284	210	226	275	236	231	246
2 やや低い	59	40	36	51	31	26	37
1 低い	34	19	18	28	10	11	24
上記の計	617	613	612	617	621	616	619
平均点	3.33	3.73	3.64	3.42	3.71	3.73	3.57

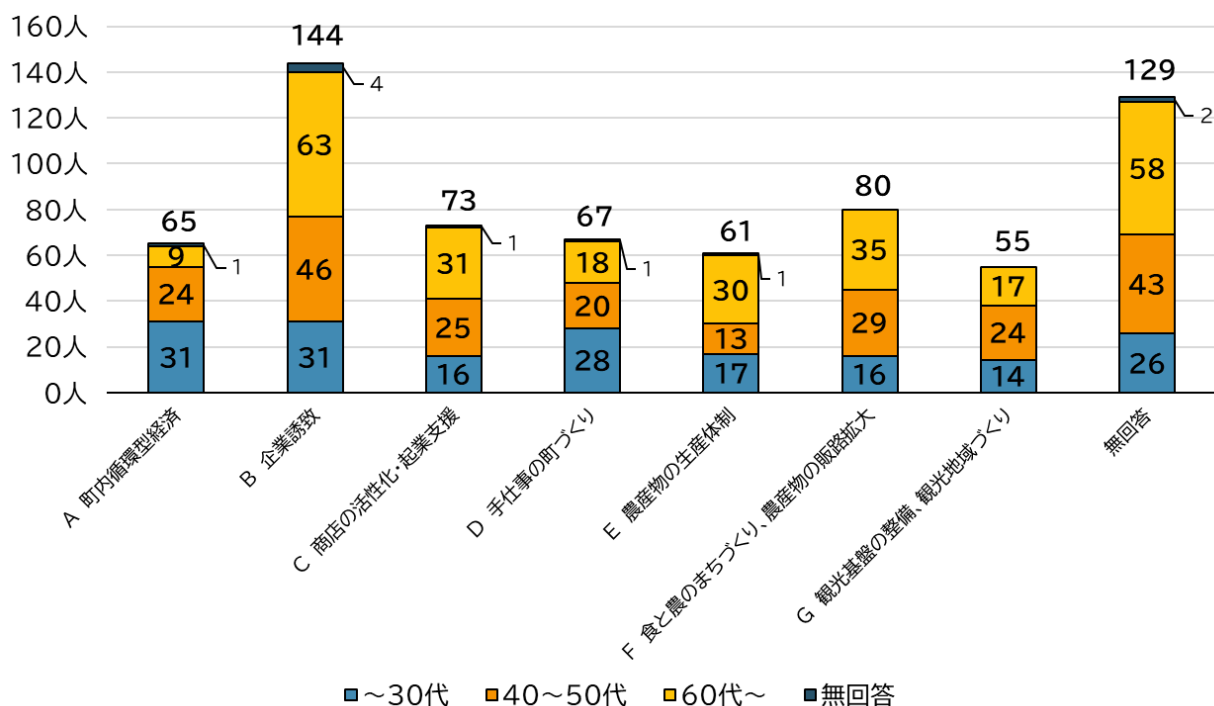
※ 平均点は、高いを5点、やや高いを4点、ふつうを3点、やや低いを2点、低いを1点とした場合の平均点



【問12-2-3】 重要度 ②産業分野

「風土に根ざした産業をつくる」の中で最も重要だと思われる取り組み(年代別) (単位:人)

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計
A 町内循環型経済	31	24	9	1	65
B 企業誘致	31	46	63	4	144
C 商店の活性化・起業支援	16	25	31	1	73
D 手仕事の町づくり	28	20	18	1	67
E 農産物の生産体制	17	13	30	1	61
F 食と農のまちづくり、農産物の販路拡大	16	29	35	0	80
G 観光基盤の整備、観光地域づくり	14	24	17	0	55
無回答	26	43	58	2	129
合計	179	224	261	10	674



【問12-3-1】現在の満足度 ③人財分野(回答者数 および 平均点)

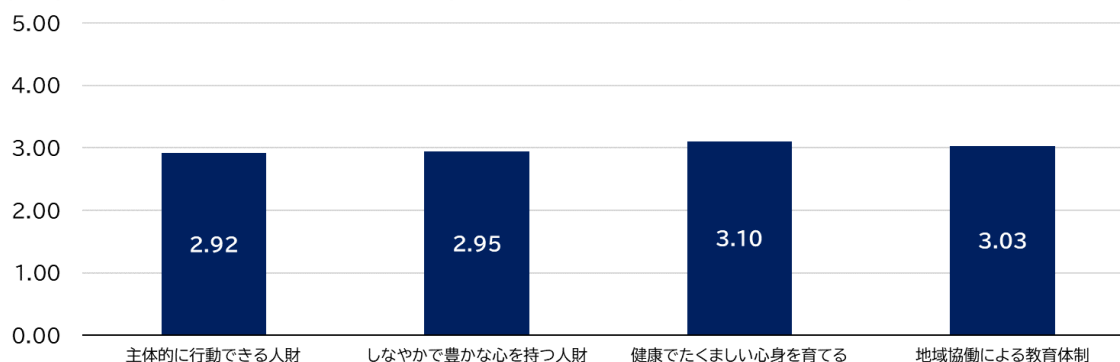
③人財分野では、現在の満足度の平均点が3.00を下回ったのは、「A 主体的に行動できる人財」(2.92)と「B しなやかで豊かな心を持つ人財」(2.95)であった。

現在の町政運営の満足度(社会的に自立した人を育てる)

(単位:人)

	問12現在3-A 主体的に行動できる人財	問12現在3-B しなやかで豊かな心を持つ人財	問12現在3-C 健康でたくましい心身を育てる	問12現在3-D 地域協働による教育体制
5 満足	14	22	23	20
4 やや満足	49	55	109	78
3 ふつう	463	434	419	448
2 やや不満	68	83	50	50
1 不満	31	24	20	24
上記の計	625	618	621	620
平均点	2.92	2.95	3.10	3.03

※ 平均点は、満足を5点、やや満足を4点、ふつうを3点、やや不満を2点、不満を1点とした場合の平均点



【問12-3-2】これからの重要度 ③人財分野(回答者数、平均点 および 最重要項目の回答者数)

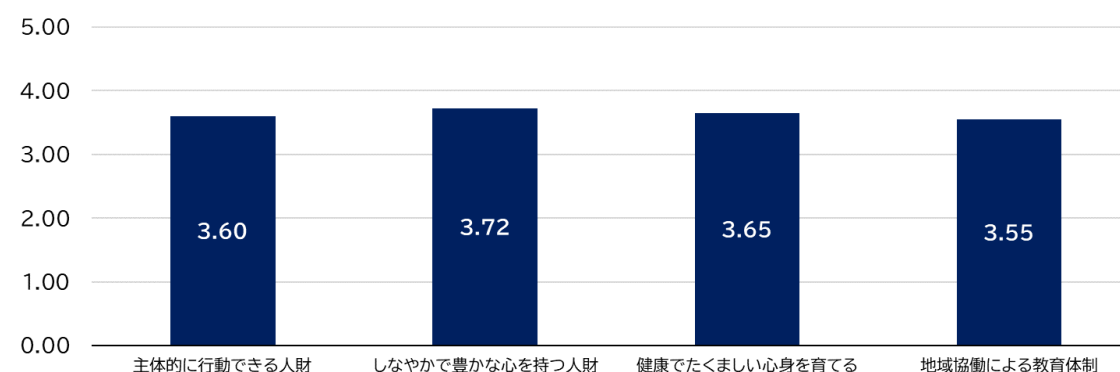
これからの重要度の平均点が最も高かったのは、「B しなやかで豊かな心を持つ人財」(3.72)であり、最も重要だと思われる取組みは「A 主体的に行動できる人財」が最も多かった。

これからの町政運営の重要度(社会的に自立した人を育てる)

(単位:人)

	問12これから3-A 主体的に行動できる人財	問12これから3-B しなやかで豊かな心を持つ人財	問12これから3-C 健康でたくましい心身を育てる	問12これから3-D 地域協働による教育体制
5 高い	114	144	119	100
4 やや高い	194	211	213	192
3 ふつう	263	218	246	280
2 やや低い	28	31	22	25
1 低い	13	12	15	16
上記の計	612	616	615	613
平均点	3.60	3.72	3.65	3.55

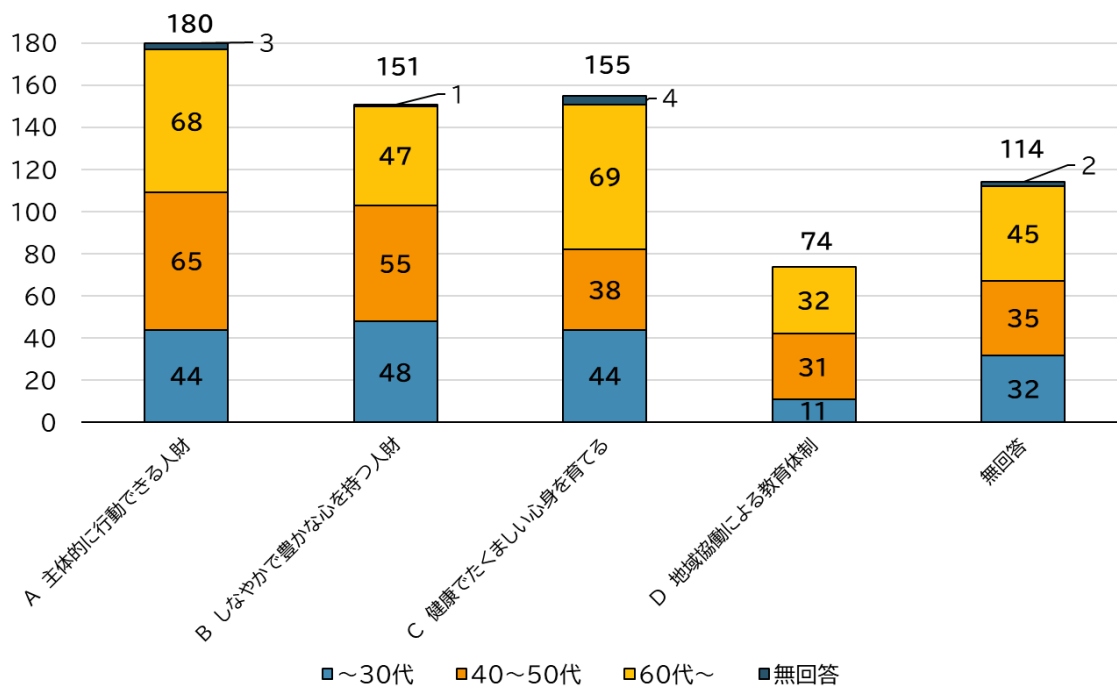
※ 平均点は、高いを5点、やや高いを4点、ふつうを3点、やや低いを2点、低いを1点とした場合の平均点



【問12-3-3】 重要度 ③人財分野

「社会的に自立した人を育てる」の中で最も重要だと思われる取り組み（年代別）（単位：人）

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計
A 主体的に行動できる人財	44	65	68	3	180
B しなやかで豊かな心を持つ人財	48	55	47	1	151
C 健康でたくましい心身を育てる	44	38	69	4	155
D 地域協働による教育体制	11	31	32	0	74
無回答	32	35	45	2	114
合計	179	224	261	10	674



【問12-4-1】現在の満足度 ④資産形成分野(回答者数 および 平均点)

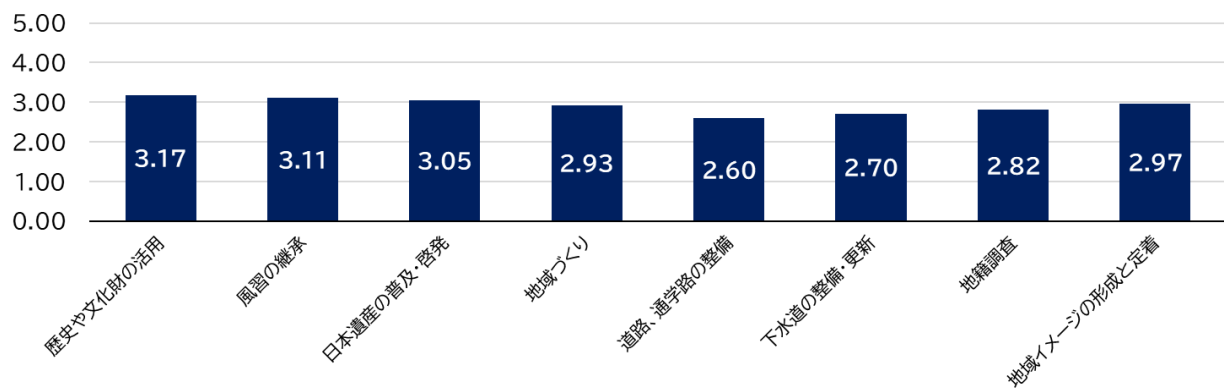
④資産形成分野では、現在の満足度の平均点が3.00を下回った項目は「D 地域づくり」(2.93)、「E 道路、通学路の整備」(2.60)、「F 下水道の整備・更新」(2.70)、「G 地籍調査」(2.82)、「H 地域イメージの形成と定着」(2.97)であった。

現在の町政運営の満足度(地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる)

(単位:人)

	問12現在4-A 歴史や文化財の活用	問12現在4-B 風習の継承	問12現在4-C 日本遺産の普及・啓発	問12現在4-D 地域づくり	問12現在4-E 道路、通学路の整備	問12現在4-F 下水道の整備・更新	問12現在4-G 地籍調査	問12現在4-H 地域イメージの形成と定着
5 満足	29	21	24	21	16	24	13	23
4 やや満足	120	121	75	80	77	67	58	75
3 ふつう	415	400	446	383	274	325	399	411
2 やや不満	37	61	54	104	154	116	91	75
1 不満	17	16	18	32	103	94	53	33
上記の計	618	619	617	620	624	626	614	617
平均点	3.17	3.11	3.05	2.93	2.60	2.70	2.82	2.97

※ 平均点は、満足を5点、やや満足を4点、ふつうを3点、やや不満を2点、不満を1点とした場合の平均点



【問12-4-2】これからの重要度 ④資産形成分野(回答者数、平均点 および 最重要項目の回答者数)

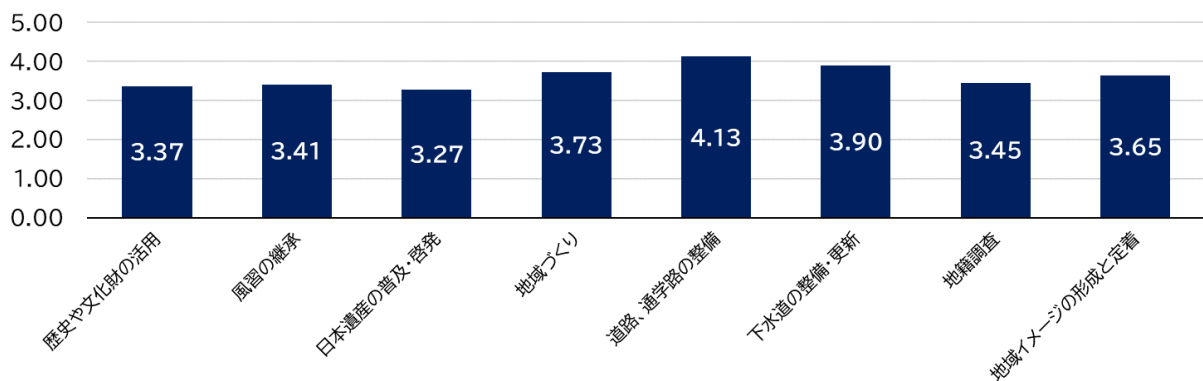
これからの重要度の平均点が最も高かったのは、「E 道路、通学路の整備」(4.13)であり、それ以外は3点台であった。また、最も重要だと思われる取組みも「E 道路、通学路の整備」であり、これからも重点的に取り組むことが期待されている項目といえる。

これからの町政運営の重要度(地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる)

(単位:人)

	問12これから4-A 歴史や文化財の活用	問12これから4-B 風習の継承	問12これから4-C 日本遺産の普及・啓発	問12これから4-D 地域づくり	問12これから4-E 道路、通学路の整備	問12これから4-F 下水道の整備・更新	問12これから4-G 地籍調査	問12これから4-H 地域イメージの形成と定着
5 高い	73	83	59	144	279	203	90	131
4 やや高い	162	172	143	227	182	198	162	194
3 ふつう	308	292	335	189	115	167	299	239
2 やや低い	40	40	43	33	29	29	42	29
1 低い	23	23	26	18	9	12	13	16
上記の計	606	610	606	611	614	609	606	609
平均点	3.37	3.41	3.27	3.73	4.13	3.90	3.45	3.65

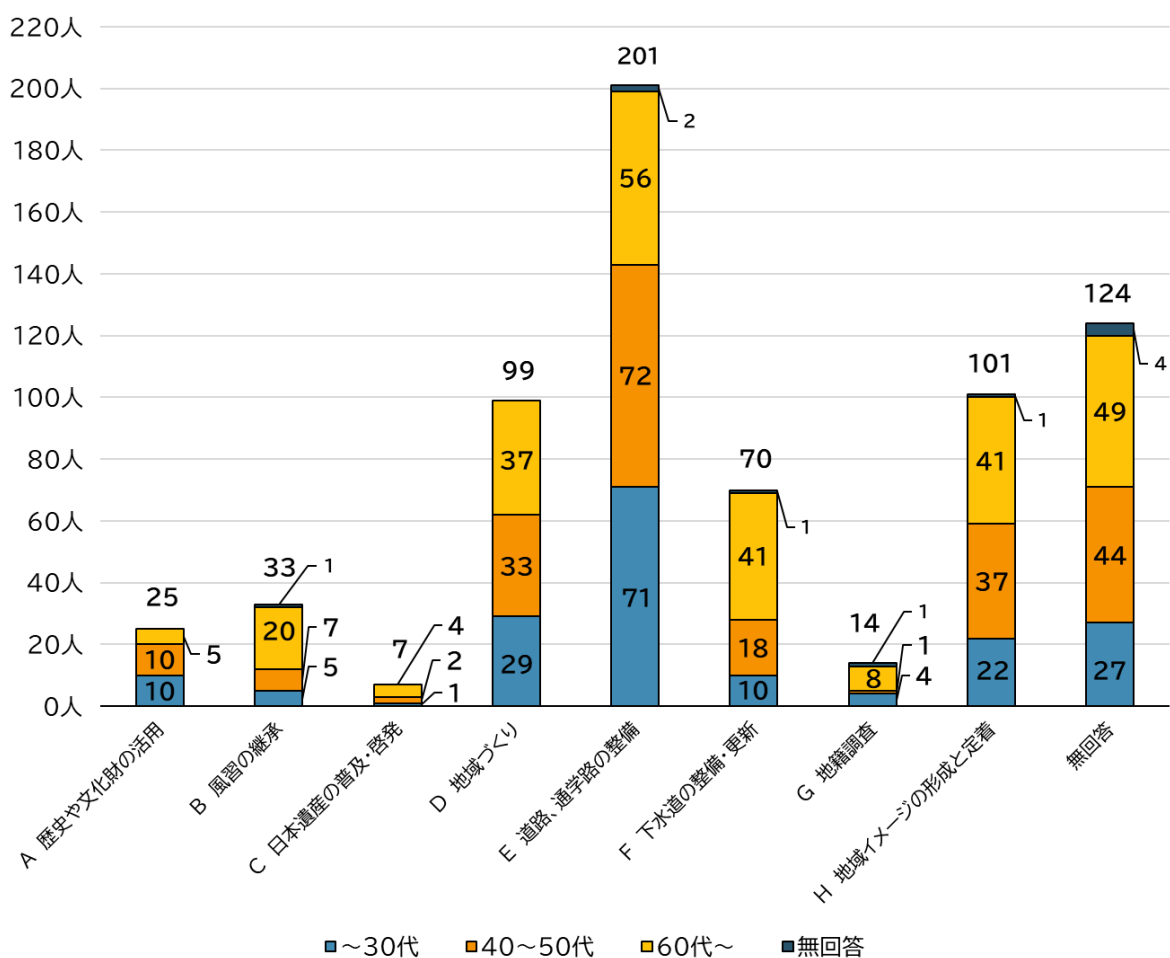
※ 平均点は、高いを5点、やや高いを4点、ふつうを3点、やや低いを2点、低いを1点とした場合の平均点



【問12-4-3】 重要度 ④資産形成分野

「地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる」の中で最も重要だと思われる取り組み（年代別）（単位：人）

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計
A 歴史や文化財の活用	10	10	5	0	25
B 風習の継承	5	7	20	1	33
C 日本遺産の普及・啓発	1	2	4	0	7
D 地域づくり	29	33	37	0	99
E 道路、通学路の整備	71	72	56	2	201
F 下水道の整備・更新	10	18	41	1	70
G 地籍調査	4	1	8	1	14
H 地域イメージの形成と定着	22	37	41	1	101
無回答	27	44	49	4	124
合計	179	224	261	10	674



【問12-5-1】現在の満足度 ⑤経営体分野(回答者数 および 平均点)

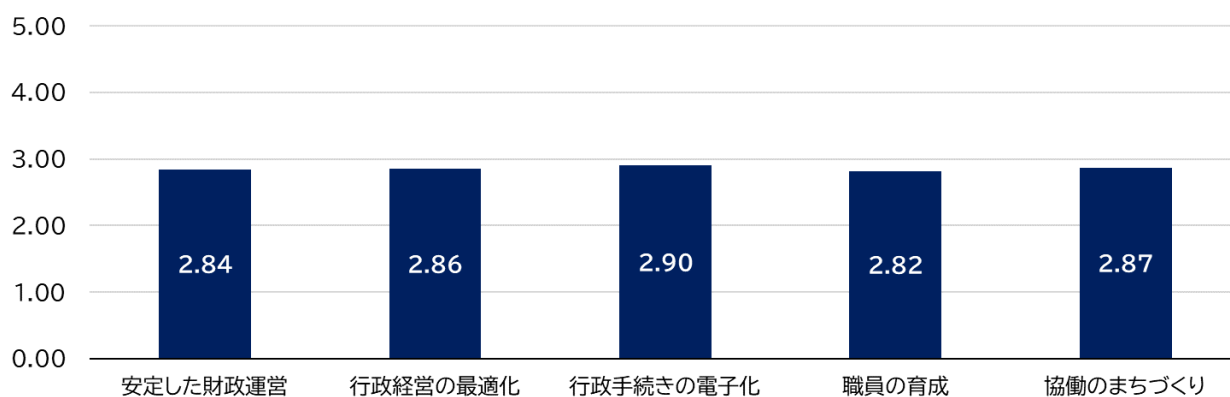
⑤経営体分野では、現在の満足度の平均点が低い順に、「D 職員の育成」(2.82)、「A 安定した財政運営」(2.84)となっており、その他の項目もすべて3.00を下回る結果であった。

現在の町政運営の満足度(健全で次世代型の経営体をつくる)

(単位:人)

	問12現在5-A 安定した財政運営	問12現在5-B 行政経営の最適化	問12現在5-C 行政手続きの電子化	問12現在5-D 職員の育成	問12現在5-E 協働のまちづくり
5 満足	12	13	16	19	13
4 やや満足	51	40	65	49	44
3 ふつう	419	440	411	397	446
2 やや不満	97	89	91	109	74
1 不満	37	33	33	46	38
上記の計	616	615	616	620	615
平均点	2.84	2.86	2.90	2.82	2.87

※ 平均点は、満足を5点、やや満足を4点、ふつうを3点、やや不満を2点、不満を1点とした場合の平均点



【問12-5-2】これからの重要度 ⑤経営体分野(回答者数、平均点 および 最重要項目の回答者数)

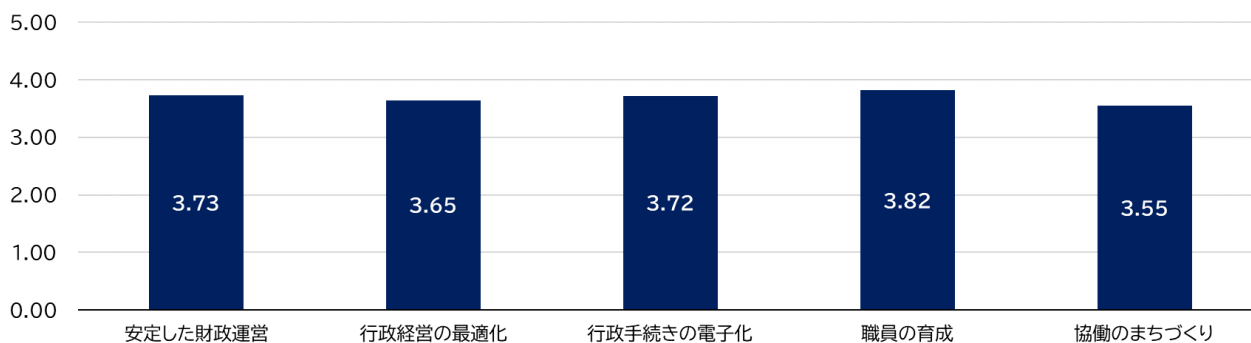
これからの重要度の平均点が最も高かったのは、満足度が低い順番と同様に「D 職員の育成」(3.82)、次いで「A 安定した財政運営」(3.73)であった。また、最も重要だと思われる取組みは、「A 安定した財政運営」が最も多かった。

これからの町政運営の重要度(健全で次世代型の経営体をつくる)

(単位:人)

	問12これから5-A 安定した財政運営	問12これから5-B 行政経営の最適化	問12これから5-C 行政手続きの電子化	問12これから5-D 職員の育成	問12これから5-E 協働のまちづくり
5 高い	151	123	146	187	106
4 やや高い	193	193	201	178	191
3 ふつう	224	250	209	207	265
2 やや低い	27	30	39	30	32
1 低い	13	9	10	11	17
上記の計	608	605	605	613	611
平均点	3.73	3.65	3.72	3.82	3.55

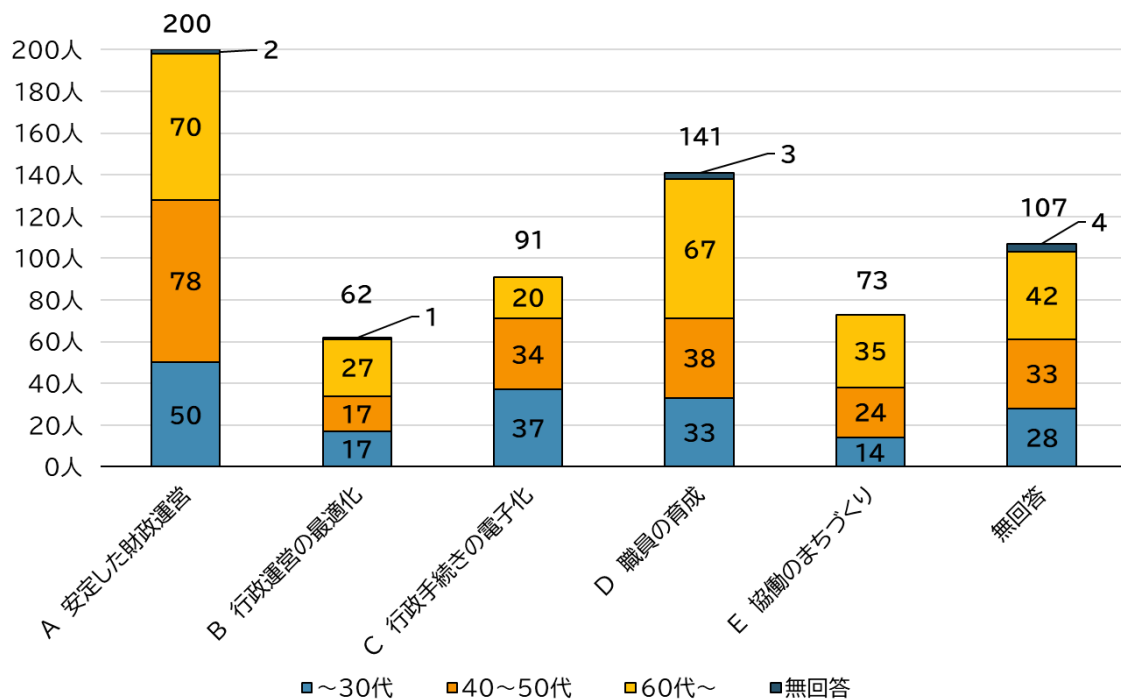
※ 平均点は、高いを5点、やや高いを4点、ふつうを3点、やや低いを2点、低いを1点とした場合の平均点



【問12-5-3】 重要度 ⑤経営体分野

「健全で次世代型の経営体をつくる」の中で最も重要だと思われる取り組み(年代別)(単位:人)

	～30代	40～50代	60代～	無回答	合計
A 安定した財政運営	50	78	70	2	200
B 行政運営の最適化	17	17	27	1	62
C 行政手続きの電子化	37	34	20	0	91
D 職員の育成	33	38	67	3	141
E 協働のまちづくり	14	24	35	0	73
無回答	28	33	42	4	107
合計	179	224	261	10	674

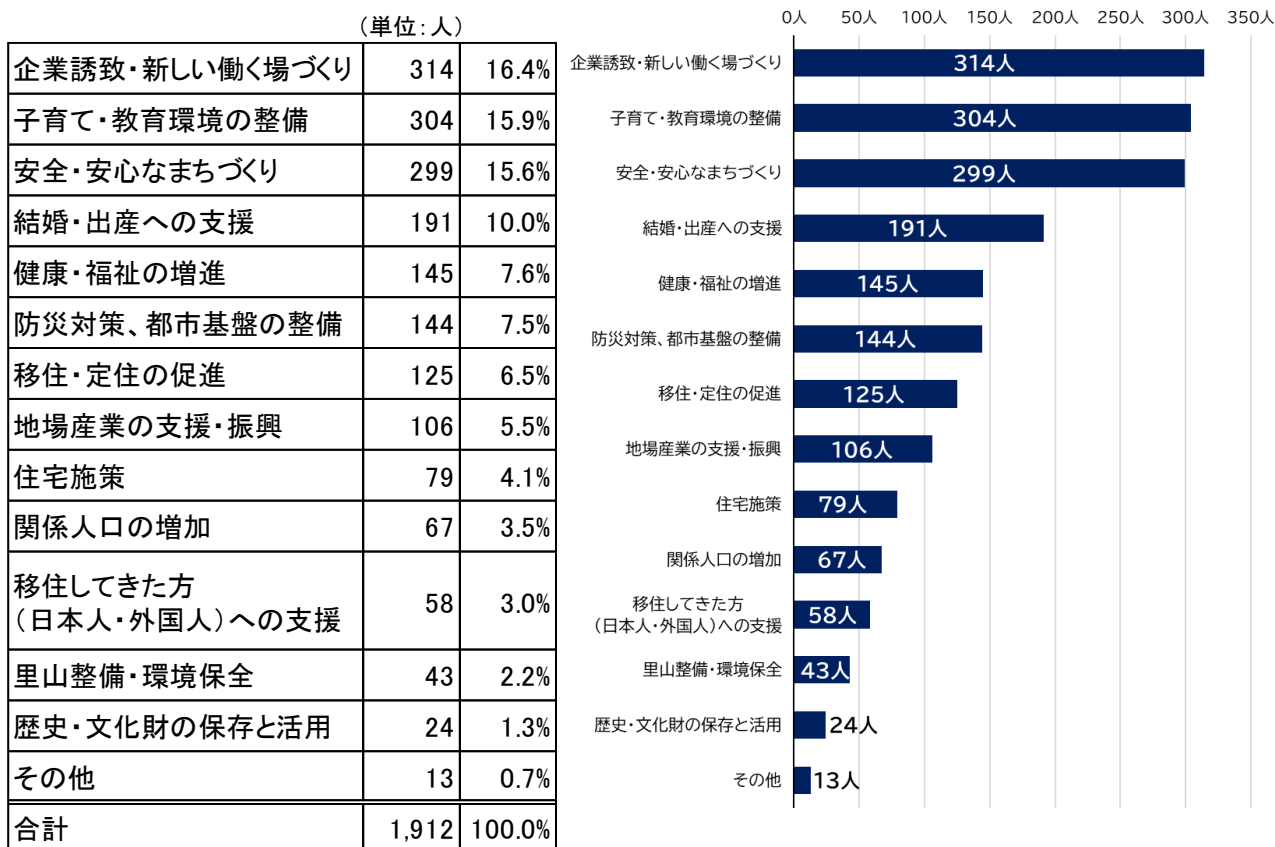


4 今後の取組みなどについて

【問13】 今後の益子町の人口減少を抑えるために力を入れて欲しい施策【優先度の高いものを3つ】

回答の多い順に、「企業誘致・新しい働く場づくり」（16.4%）「子育て・教育環境の整備」（15.9%）「安全・安心なまちづくり」となった。また、「その他」に13件の回答があったが、回答項目に分類できない回答は、「食品ロス問題」「男女平等」であった。

今後の【益子町の人口減少を抑えるため】に力を入れてほしい施策（優先度の高いものを3つ）



【問14】 10 年後の益子町をどのような町にしたいか、どのような取組みに力を入れるべきか、もしくは自由意見【自由記述】

記載された意見を分類すると、多い順に次のとおりとなった。

人数 (人)	割合 (%)	意見
82	12.2	道路や公共施設（下水道を含む）、商業施設などの社会資本の充実
63	9.3	子育て支援策の充実などによる子育て世代が住みやすい町
60	8.9	企業誘致など、働く場所の充実
44	6.5	公共交通の利便性向上
41	6.1	防犯、防災対策などの安全・安心なまちづくり
41	6.1	高齢者などへの支援、健康・福祉の増進

※ 割合は、アンケート回答者数（674 人）のうち、当該意見を記載した人数の割合。複数回答有。